

海員春闘・大衆討議 九州関門地方支部

現場の声を力に!要求貫徹に向けて一致団結

船員職業の後継者確保と若年船員の定着のため賃金アップ

九州関門地方支部は、内航・大型カーフェリーの関係組合員に対し、各船団における次年度労働協約改定要求原案の策定に至るまでの経緯と具体的な要求の組み立てについて説明し、質疑応答のうえ共通認識を図った。また、旅客船・水産・港湾・陸上部門の個別各社は、これまで組合員から提起された協約改定要望などを踏まえ、中央方針に則った要求原案を策定し、積極的に大衆討議訪船・現場集会を開催し、現場組合員の意見・要望の集約に努めた。寄せられた主な意見・要望は次の通り。

内航部門

▽若年層の定着率が低いので、要員を確保する魅力ある賃金形態は必要と考える。

▽乗船期間が3カ月を超えた場合の慰労金の新設は、モチベーション向上につながる。

大型カーフェリー部門

▽陸上諸産業は、本年もベアが行われる見込みであるため、船員の魅力向上につながるよう、4年連続のベア満額回答を目指して交渉を頑張っていたきたい。

旅客船部門

▽近年のベア獲得には大変感謝しており、今年も高水準のベアを勝ち取れるよう交渉を頑張ってもらいたい。

▽船員を確保するため魅力的な賃金改善が必要である。

▽航海中は電波が入らない海域もあるので、インターネット環境を改善してほしい。

水産部門

▽昨年の満額回答に感謝しており、今年も要求通りのベアがなされるよう交渉を頑張ってもらいたい。

港湾部門

▽人材不足を補うため賃金改善は必要不可欠。若年層の定着率を上げないと悪循環に歯止めが効かないため、去年よりも高い水準でベアを勝ち取れるよう頑張ってもらいたい。

▽物価も上がっているため、食料金の増額をお願いする。

▽職務に応じたベア獲得を目指し交渉願いたい。

総括として、多くの組合員から「物価高に歯止めがかかっておらず、実質賃金は目減りしており、陸上よりも、船員としての魅力発信のためベースアップに大いに期待しており、交渉を頑張っていたきたい」との激励を受けた。厳しい交渉が予想されるが、現場組合員と職場委員、執行部が一致団結して労働協約改定闘争に臨む。

「海員だより」